

申請書の書き方：第一種電気工事士試験の合格申請者の場合

様式第2（第6条関係）

電気工事士免状交付申請書

年 月 日

埼玉県知事

申請者

〒	—
住 所	
電 話	
(フリガナ)	
氏 名	
生 年 月 日	年 月 日生

電気工事士法第4条第2項の規定により第一種電気工事士免状の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

免状に記載する氏名

楷書でお書きください

住民票等に記載された旧姓・通名が使えます。
必ず、フリガナを記入してください。
「同上」とは書かず必ず記入してください。

(フリガナ)

(氏名)

◎
電気工事士免状を受ける資格

- 1 第一種電気工事士試験に合格し、かつ、実務経験を有する
- 2 認定（電気主任技術者・高圧電気工事技術者）

※ 経 過 欄

※ 受 付 欄

（備考）

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- ◎印欄は、該当する事項を○で囲み、これを証明する書類を添付すること。
- ※印欄には、記入しないこと。
- この申請書に、住民票等及び顔写真（この申請書を提出する前6か月以内に撮影した縦4cm、横3cmのもので、裏面に氏名を記入したもの。）を添付すること。
- 第一種電気工事士免状交付申請に伴う手数料は、6,000円です。手数料の納付方法はキャッシュレス決済となります。

免状の送付先

〒 —

◆住所

「住所、氏名及び生年月日を確認するのに足りる書類」（住民票や運転免許証）に記載されている「住所」を記入してください。

◆電話

日中に連絡の取れる「電話番号」を記入してください。

◆フリガナ

記入漏れに注意してください。

◆免状に記載する氏名

「住所、氏名及び生年月日を確認するのに足りる書類」に記載されている字を使います。

・免状に記載する氏名に「旧姓等」を用いたい場合は、この記入欄の氏名を必ず「旧姓等」にしてください。

・「住所、氏名及び生年月日を確認するのに足りる書類」で確認できる場合は、免状に記載する氏名を「旧姓等」で交付します。

◆電気工事士免状を受ける資格

第一種電気工事士試験に合格し免状交付を申請する場合は、「1」を丸で囲んでください。

◆免状の送付先

免状は、申請者の住所へ、簡易書留で発送します。

「職場の方が受け取りやすい」などの理由で、申請者の住所と異なる場所で免状を受け取りたい場合は、記入してください。